

## 平成21年10月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年9月3日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社フジ・コーポレーション  
 コード番号 7605 URL <http://www.fujicorporation.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役本社営業部部长  
 四半期報告書提出予定日 平成21年9月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 遠藤 文樹  
 (氏名) 多賀 睦実

TEL 022-348-3300

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年10月期第3四半期の業績(平成20年11月1日～平成21年7月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第3四半期	9,709	0.4	565	△16.2	560	△16.8	306	△21.6
20年10月期第3四半期	9,669	5.9	675	10.7	674	11.2	391	78.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
21年10月期第3四半期	65.28	—
20年10月期第3四半期	83.25	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
21年10月期第3四半期	6,822	3,272	48.0	695.92
20年10月期	6,532	3,019	46.2	642.09

(参考) 自己資本 21年10月期第3四半期 3,272百万円 20年10月期 3,019百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
20年10月期	—	—	—	12.00	12.00
21年10月期	—	—	—	—	—
21年10月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年10月期の業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	12,800	5.9	637	3.6	619	1.6	342	0.5	72.87

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年10月期第3四半期 4,840,000株 20年10月期 4,840,000株

② 期末自己株式数 21年10月期第3四半期 137,917株 20年10月期 137,917株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年10月期第3四半期 4,702,083株 20年10月期第3四半期 4,702,083株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国の経済は、米国リーマン・ショックから始まった世界同時不況という事態により、依然として厳しい状況下に置かれております。生産活動が極めて低い水準にあることなどから、雇用情勢の一層の悪化が懸念されるものの、在庫調整の一巡や政府経済対策の実施による、景気持ち直しの動きが見られ始めました。

自動車関連業界におきましては、エコカー減税による対象の一部車両や、ETC割引の実施に伴う車載器やタイヤの販売及びオイル交換等は好調に推移しておりますが、暫定的な事象のため、予断を許さない状況であります。このような状況のもと当社では、エコかつ安価といった消費動向に沿った安価で提供できるオリジナルブランドホイール×エコタイヤの販売や、円高基調を生かした海外ブランドの円高還元セール等の販売戦略を推し進めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は9,709百万円（前年同期比0.4%増）と僅かですが増収となりました。以下、新規に出店した店舗の固定費の増加により、営業利益は565百万円、経常利益は560百万円となり、また、翌期にフジファイブデイズ江戸川店を移転することを決定したため、店舗移転損失を特別損失に計上し、この結果、四半期純利益は306百万円となりました。

品種別売上高の状況は、タイヤは4,940百万円（前年同期比6.5%増）、ホイールは3,680百万円（前年同期比9.0%減）、用品は441百万円（前年同期比21.6%増）、作業料は646百万円（前年同期比3.7%増）となりました。また、経路別売上高の状況は、店舗売上高は5,974百万円（前年同期比1.9%減）、通販売上高は2,697百万円（前年同期比8.3%増）、業販売上高は1,037百万円（前年同期比4.8%減）となっております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は前事業年度末に比べ290百万円増加の6,822百万円となりました。また、負債は前事業年度末に比べ37百万円増加の3,550百万円、純資産は前事業年度末に比べ253百万円増加の3,272百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ6百万円増加の269百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、125百万円となりました。（前年同期は641百万円の獲得）

これは主に、税引前四半期純利益549百万円、仕入債務の減少額627百万円、法人税等の支払額333百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、23百万円となりました。（前年同期は201百万円の使用）

これは主に、固定資産の取得による支出51百万円、建設協力金の回収額47百万円などによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は、154百万円となりました。（前年同期は414百万円の使用）

これは主に、短期借入金の増加額300百万円、長期借入による収入200百万円、長期借入金の返済による支出289百万円、配当金の支払額55百万円などによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における業績は、当初予想を下回る推移となっておりますが、通期業績見通しにつきましては、依然景気の動向を見極めることが難しく、現時点におきましては、平成21年6月5日に公表の「平成21年10月期第2四半期決算短信(非連結)」から変更しておりません。

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ①法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められるため、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

###### ②税金費用の算出方法

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

##### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### ①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

###### ②棚卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	280,354	273,758
売掛金	337,774	334,997
商品	1,966,391	2,186,448
未収入金	833,291	265,113
その他	143,931	138,912
貸倒引当金	—	△35
流動資産合計	3,561,743	3,199,194
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,026,950	986,410
減価償却累計額	△379,177	△357,853
建物(純額)	647,773	628,556
土地	1,499,448	1,499,448
その他	957,522	960,913
減価償却累計額	△671,664	△627,860
その他(純額)	285,857	333,052
有形固定資産合計	2,433,079	2,461,058
無形固定資産	44,616	57,919
投資その他の資産	783,075	814,126
固定資産合計	3,260,771	3,333,104
資産合計	6,822,514	6,532,299
負債の部		
流動負債		
買掛金	645,881	705,094
短期借入金	400,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	385,714	385,714
未払法人税等	105,809	189,000
賞与引当金	10,010	31,750
前受金	60,797	117,991
その他	179,774	151,291
流動負債合計	1,787,986	1,680,841
固定負債		
長期借入金	1,525,714	1,615,000
退職給付引当金	28,415	23,487
役員退職慰労引当金	208,125	193,800
固定負債合計	1,762,254	1,832,287
負債合計	3,550,241	3,513,128

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年10月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	531,400	531,400
資本剰余金	568,000	568,000
利益剰余金	2,204,995	1,954,490
自己株式	△32,160	△32,160
株主資本合計	3,272,234	3,021,729
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	38	△2,558
評価・換算差額等合計	38	△2,558
純資産合計	3,272,273	3,019,170
負債純資産合計	6,822,514	6,532,299

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)
売上高	9,709,094
売上原価	7,016,839
売上総利益	2,692,254
販売費及び一般管理費	2,126,423
営業利益	565,831
営業外収益	
受取利息	3,356
受取配当金	1
協賛金収入	7,073
受取手数料	11,180
その他	13,771
営業外収益合計	35,382
営業外費用	
支払利息	38,027
その他	2,400
営業外費用合計	40,428
経常利益	560,784
特別利益	
貸倒引当金戻入額	35
特別利益合計	35
特別損失	
有形固定資産除却損	518
ソフトウェア除却損	899
店舗移転損失	9,785
特別損失合計	11,203
税引前四半期純利益	549,617
法人税等	242,687
四半期純利益	306,930

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
売上高	2,501,144
売上原価	1,868,935
売上総利益	632,208
販売費及び一般管理費	666,127
営業損失(△)	△33,919
営業外収益	
受取利息	760
受取配当金	1
受取手数料	5,011
その他	3,188
営業外収益合計	8,961
営業外費用	
支払利息	11,588
その他	750
営業外費用合計	12,338
経常損失(△)	△37,296
特別損失	
有形固定資産除却損	324
ソフトウェア除却損	899
店舗移転損失	9,785
特別損失	11,009
税引前四半期純損失(△)	△48,305
法人税等	△19,979
四半期純損失(△)	△28,325

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	549,617
減価償却費	82,240
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,740
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,927
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,325
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△35
受取利息及び受取配当金	△3,357
支払利息	38,027
有形固定資産除却損	518
無形固定資産除却損	899
店舗移転損失	9,785
売上債権の増減額(△は増加)	△59,971
たな卸資産の増減額(△は増加)	220,057
仕入債務の増減額(△は減少)	△627,407
その他	39,126
小計	247,013
利息及び配当金の受取額	1,238
利息の支払額	△39,800
法人税等の支払額	△333,681
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△125,230</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金等の純増減額(△は増加)	△578
有形固定資産の取得による支出	△47,798
無形固定資産の取得による支出	△3,354
その他	28,110
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△23,620</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△289,285
配当金の支払額	△55,846
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>154,867</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,017
現金及び現金同等物の期首残高	269,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	275,617

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成19年11月1日 至平成20年7月31日)
I 売上高	9,669,280
II 売上原価	7,024,633
売上総利益	2,644,646
III 販売費及び一般管理費	1,969,537
営業利益	675,108
IV 営業外収益	40,834
V 営業外費用	41,593
経常利益	674,350
VI 特別利益	1,261
VII 特別損失	667
税引前四半期純利益	674,944
法人税・住民税及び事業税	299,455
法人税等調整額	△ 15,978
四半期純利益	391,468

(2) (要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成19年11月1日 至平成20年7月31日)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	674,944
減価償却費	76,957
賞与引当金の増加額	△ 19,900
退職給付引当金の増加額	4,558
長期前払費用の減少額	29,140
受取利息及び受取配当金	△ 2,454
支払利息	39,229
有形固定資産売却益	△ 1,261
有形固定資産除却損	667
売上債権の増加額	△ 14,570
たな卸資産の増加額	△ 199,169
仕入債務の増加額	332,426
未払消費税等の減少額	△ 23,575
その他	△ 21,222
小計	875,770
利息及び配当金の受取額	2,454
利息の支払額	△ 41,276
法人税等の支払額	△ 195,899
営業活動によるキャッシュ・フロー	641,049
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金等の純増額	△ 1,340
有形固定資産の売却による収入	1,523
有形固定資産の取得による支出	△ 61,686
無形固定資産の取得による支出	△ 10,663
建設協力金の支払額	△ 125,000
貸付金の回収による収入	760
その他	△ 5,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 201,444
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純減額	△ 400,000
長期借入による収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△ 259,285
配当金の支払額	△ 55,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 414,370
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増減額	25,234
VI 現金及び現金同等物の期首残高	407,844
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	433,079

6. 販売の状況

(1) 品種別売上高

	当第3四半期累計期間 自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日	
	売上高(千円)	構成比(%)
タイヤ	4,940,836	50.9
ホイール	3,680,909	37.9
用品	441,294	4.6
作業料	646,053	6.6
合 計	9,709,094	100.0

(2) 経路別売上高

	当第3四半期累計期間 自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日	
	売上高(千円)	構成比(%)
店舗売上	5,974,802	61.5
通販売上	2,697,219	27.8
業販売上	1,037,072	10.7
合 計	9,709,094	100.0